

政清会を代表いたしまして、議案第1号から第6号まで、全て賛成の立場で討論いたします。

いまだに継続する世界的な原油価格・物価高騰の影響、不確実性が高まる社会情勢において、野田市民の命と暮らしを守ることが最優先です。

これを踏まえ、政清会では、地方自治法第2条第14項、地方公共団体は、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならないとの視点から、施策ごとの予算内容について分析いたしました。

最初に、一般会計の予算規模は、約535億6,500万円、前年度対比12億9,000万円、2.5%増となり、野田市においては、過去最大の当初予算規模となりました。

それでは、歳入から述べさせていただきます。

市税は、給与収入の上昇などに伴う伸びが予測されますが、定額減税による減収のため、約3億8,600万円減となりました。

一方、全額国費で定額減税による減収分が補填されるなど、地方特例交付金は、前年度対比約370%増の6億7,400万円となりました。

次に、歳出に関しましては、特に評価すべき点を含め、申し上げます。

現在、施設所管部署が、施設ごとに行っている保守点検、清掃、機械警備等の維持管理業務や日常修繕業務を庁舎内で集約し、複数年にわたり、まとめて発注・管理する公共施設の包括管理、そして、エネルギー使用量を削減する省エネ対策の一つである照明LED化など、公共施設等適正管理事業費が、新規計上されたことについて、評価いたします。

なお、公共施設の包括管理業務について、3月上旬の説明会では、出席者に対し、市の本意が伝わらず、混乱している状況を踏まえ、関係各位に対し、早急に再度の説明会を開催するなど、理解を求めることが大切です。

子育て支援策の充実について、申し上げます

野田市は、令和5年8月診療分から中学3年生までの全ての子供の医療費を完全無料化していますが、令和6年8月診療分からは、さらに、高校3年生まで助成対象とし、自己負担金を通院1回につき500円として制度を拡充することについても、評価いたします。

令和6年度は、市民の安心・安全のため、救急医療体制確保事業費が、新規計上されました。

これは、救急告示病院である小張総合病院、キッコーマン総合病院、野田病院に対し、救急搬送等患者の受入実績を基本として協力金を交付するものです。市民の安全を守るための救急医療体制が、新たに構築されるもので、評価します。

災害時に強く、安心して暮らせるまちづくりについて、申し上げます。

近年の頻発化・激甚化する大規模自然災害のリスクが高まっている状況を踏まえ、避難所の体制を強化・充実させることは、喫緊の課題です。

野田市は、災害時の避難所として使用されている体育館について、緊急防災・減災事業債を活用した空調設備を設置するもので、避難所、体育館の整備を進めることを評価いたします。

学校給食費物価高騰対策について申し上げます。

物価高騰により食材料費が上昇する中、今後も、子供達に安全で安心できるおいしい給食を提供するため、令和6年度から学校給食費の増額改定を実施します。

しかし、学校給食費の増額改定分を補助する、学校給食費高騰対策事業費が計上されたことは、子育て支援策の充実につながるものです。

次に、議案第2号国民健康保険特別会計予算について、申し上げます。

野田市の国民健康保険の現状は、医療の高度化による加入者1人当たりの医療費、そして、後期高齢者の増加による後期高齢者支援金、さらには、要支援者・要介護者の増加による介護納付金の増加により、支出は右肩上がりに増加しています。

このような状況の中、野田市の国民健康保険の財政は、支出に対して、収入が不足する、厳しい状況が続いており、その赤字部分は、市税等で補填しています。

鈴木市長は、赤字を解消し国保財政を、安定して運営できるよう、令和6年度から計画的に保険料率を改定する予算を計上いたしました。

その内容は、加入者の皆様にとって、急激な負担増とならないよう、段階的に引上げを行っていくこととしており、令和6年度は、被保険者1人当たり平均年額約6,580円を、引き上げるものです。

なお、国保料率引上げについてですが、市民の皆様への周知期間が、あまりにも短過ぎます。

市民の皆様の視点に立ち、市民サービス第一でスピーディ、かつ、丁寧な周知を志していただきますよう、意見を付します。

野田市は、将来にわたり持続可能なまちとして、これからも成長しつづけることが大切です。

そのような状況の中、今議会の一般質問初日、我が政清会会長の平井正一議員の質問に対し、鈴木市長から市長選への出馬報告がありました。

鈴木市長におかれましては、これまで養った卓越した経験、そして、その強力なリーダーシップを発揮し、今後も、様々な施策を展開し、野田市としての魅力、そして、新たな付加価値を創造していくことを望みます。

市民の皆様が、野田市のよさを学び、知ることで、愛着が生まれ、いつまでも、野田市に住みたいと思ってもらえるよう取組を、鈴木市長には、さらに推し進め

ていただけますよう希望します。

以上、政清会を代表し、令和6年度一般会計予算ほか、全ての予算について賛成討論いたします。